

# カルボン酸側鎖を有するポリ置換メチレン の分子設計による疎氷性制御



松本 拓也  
神戸大学  
講師

これまで、高分子の表面・界面・接着の制御と解析に携わってきました。高分子は側鎖の分子骨格によって、高分子表面の性質が大きく変化します。本研究では、側鎖が高密度に集積されたポリ置換メチレン骨格に着目し、側鎖に高い親水性を示すカルボン酸を導入した高分子を利用し、その高分子表面の着氷性の制御に取り組めます。

航空機や自動車、インフラの分野では、表面の除氷は非常に重要であり、着氷性の制御が求められます。高分子

の設計により表面“水圏”の凍結挙動の制御から表面の疎氷性付与に取り組めます。

